

当文教厚生委員会に付託された案件については、本日、午前10時から、全員協議会室において、委員6名出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

議案第58号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り主な質疑として、

子どもの貧困対策事業については、学習支援事業に参加する生徒及び指導員に使用してもらうマスクや消毒液などを購入することのだが、年間の利用者人数はどのように見込んでいるか。とに対し、

3会場の定員は、それぞれ20人であり、マンツーマンで対応する指導員を加え、今後の実施予定回数を乗じて約4,300人と見込んでいます。とのこと。

教育支援体制整備事業費補助金については、国が県に対して補助するもので、3分の1を市費で負担することとなった経緯はどのようなか。また、県に対して当該部分の補助実施を要望していく考えはあるか。とに対し、

半田市としては、愛知県が示す補助メニューで使用できるものを選択していくしかない状況で、本事業が必要であると判断した結果、補助申請を行ったものです。また、今後は県に対して補助内容の拡大を要望してまいります。とのこと。

小学校管理運営事業のうち、特別教室等への冷風機の設置について、冷風機では冷房効果が弱いので、普通教室と同様にエアコンを設置すべきと思うかどうか。とに対し、

エアコンを設置する場合、費用が高額になってしまうことと、今年の夏までの設置が不可能であるため、設置可能な設備の中で最も効果が高いと思われる冷風機を導入したいとするものです。とのこと。

同じく、小学校管理運営事業のうち、浄水器の設置については、各学年に1台ずつ設置することのだが、生徒の人数に応じた台数を設置すべきと思うかどうか。とに対し、

本来、学校の水道水は飲むことができるため、塩素の臭い等が気になる生徒・児童の使用を想定しています。また、学校では、学年ごとにフロアが分かれていることが多いため、1フロアに1台を設置する予定です。とのこと。

福祉文化会館管理運営事業について、今回導入する非接触型の体温計を赤外線カメラとした理由はなにか。とに対し、

大きなイベント等で使用することを想定して、一度に20人ほどの体温を測定できるものにしました。とのこと。

図書館、博物館管理運営事業及び新美南吉記念館管理運営事業について、非接触型の体温計は品薄状態で手に入らない状況が続いているが、購入の目途はあるのか。とに対し。

図書館・博物館では、未だ入荷待ちの状況ですので、入荷次第購入したいと考えています。

新美南吉記念館については、既に購入済みですが、この度の補助制度が購入済みのものも補助対象となっているため計上したものです。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。